

# 工法



ジェットスプレー工法は  
認定代理店による責任施工となっています

# ジェットスプレー

「他・吹付工

— 施工膜厚

## 工法特許及び商標



【防水舗装工法】  
【特許第3965306号】



【建築物における  
防水膜施工方法】  
【特許第4299202号】



【建築物における  
防水膜施工方法】  
【特許第4241531号】



【防水膜施工方法および  
屋上庭園における  
防水膜施工方法】  
【特許第4473663号】



【ジェットスプレー工法】



【J·S·C·M工法】

## 特長

### 水蒸気透過特性

コンクリート構造物を防水コーティングする場合、湿気をコンクリート構造物内に蓄積させないために適度な水蒸気透過性をもってなければなりません。

ジェットスプレー工法では他のウレタン防水材料やゴムシートに無い水蒸気透過性をもっており、施工後水蒸気による膨れが他の材料に比べて発生しにくい性質を持っています。

### 塗膜の特性

項目	単位	一般ウレタン防水剤	ジェットスプレー
密度	g/cm	1.318	0.974
硬さ	度	71	76
厚さ	mm	1.95	2.0
透湿度	g/m <sup>2</sup> 24h	34.5	81.7
透湿係数	g/m <sup>2</sup> ・h・mmHg	0.0289	0.159

### ジェットスプレー工法



圧縮エアでのスプレーによって塗膜にエア層を形成し適度な水蒸気透過性が生まれる(液体は通さず蒸気は通過する)。下地の残留水分によるフクレが発生しにくい。

項目	ジェットスプレー
透湿度(g/m <sup>2</sup> 24h)	87.7
透湿係数(g/m <sup>2</sup> ・h・mmHg)	0.159

試験方法 JIS Z 0280準拠

### 他スプレー工法



エアレススプレーのため塗膜にエア層は形成されず、水蒸気透過性は微量。下地の残留水分によるフクレが発生しやすい。

項目	他スプレー工法
透湿度(g/m <sup>2</sup> 24h)	41.09
透湿係数(g/m <sup>2</sup> ・h・mmHg)	0.08

試験方法 JIS Z 0280準拠

### 〈参考〉手塗りウレタン



### ジェットスプレーの仕組み

図1のように、A液・B液はスタティック内部で完全に攪拌混合され、5バール調整された圧縮空気ですプレーします。塗膜形成時に、スタティック内で完全攪拌された材料にエアを含ませることで、物性の高い、呼吸性のある弾性塗膜を実現しました。また、図2のように特殊アタッチメントを圧縮空気が通過することにより、形成された塗膜には、ごく微量で変型したエア層が生じます。この特殊なエア層は、さらに高物性のウレタン膜を形成させます。(呼吸性ウレタン)

